

# エゾヤマザクラ

花の蜜を吸う  
ヒヨドリや  
ミツバチ



## 四季の観察ポイント

春

花と葉がほぼ同時に開く

葉ははじめ  
赤みがる

夏

実は熟すと  
緑→赤→黒紫色と  
変化する

秋

紅葉は  
赤・黄・橙色  
と多様

冬

冬芽には  
花芽と葉芽  
がある

芽鱗が粘る

バラ科  
サクラ属  
樹高 15～20m

花をちぎり取って  
蜜を吸うスズメ  
(盗蜜という)

春に周辺の  
地面から出る  
アミガサタケ



北海道のサクラといえばエゾヤマザクラ。寒さに強く、日本で十種類ある野生のサクラの中で花の色が濃く、厳しい冬の寒さでより色味が増します。春に花が咲くと同時に赤みがかった葉も開くため、余計に枝先が赤く見えます。別名オオヤマザクラやベニヤマザクラとも呼ばれます。北海道の山では、他にチシマザクラ、ミヤマザクラ、カスミザクラ等が見られます。



樹皮は横に皮目が入る

## リン子の絵日記

サクラ色々

**カスミザクラ** **ソメイヨシノ** **エゾヤマザクラ**

ちなみに、春に出されるサクラ開花宣言の標本木は、地域によってサクラの種類が違った。

エゾヤマザクラはやっぱり花の色が濃くて鮮やかだね。

ソメイヨシノもきれいだわ。

少し遅れて咲くカスミザクラも可憐だね。

ライラックと同じ時期に咲くチシマザクラは低木で香りがあるよ。

サクラ開花宣言 標本木

- ① ソメイヨシノ
- ② エゾヤマザクラ
- ③ チシマザクラ

チシマザクラ

あら？ 花がまるごと落ちてきているわ。

スズメの仕業だね。くちばしの短いスズメは、サクラの花をちぎり取って蜜を吸うんだ。

花より団子ね。

こっちも花よりお肉だね。

北海道名物 サクラの下でジンギスカン！

いったんきま〜す!!

## エゾヤマザクラとくわいとのつながり

エゾヤマザクラやヤマザクラは、木目が緻密で堅いことから、昔は浮世絵の版木や和菓子の木型に使われていました。今でも家具材として利用されます。樹皮はなめらかで光沢があることから、樺細工と呼ばれる工芸品に利用され、また材はほのかにいい香りがすることから、燻製を作るチップとしても利用されています。



## アイヌ民族とエゾヤマザクラ

エゾヤマザクラはアイヌ語で「カリンパニ(桜皮の木)」と呼ばれ、樹皮を弓矢に巻いたり、小物に張り付けたりしました。

